



研究・研修報告書

令和4年10月24日

小牧市議会議長 様

会派名 公明党小牧市議団  
代表者氏名 加藤晶子

研究・研修の結果を報告します。

記

1 参加議員

加藤晶子  
稲垣衿子  
星熊伸作

2 日程

令和4年10月19日(水)・20(木)

3 研究・研修名

第17回全国市議会議長会研究フォーラム  
-デジタルが開く地方議会の未来-in長野

4 主催者

全国市議会議長会

5 会場

ホクト文化ホール(長野市)

6 受講の目的

経済社会のデジタル化の急速な進展と新型コロナウイルス感染症の拡大を背景に地方議会のデジタル化も着実に進んでいる。

議会機能の強化等について国の情報等と情報共有し活用できることは活用していきたいと思えます。

7 主な内容

1日目 10月19日(水)

第1部 基調講演「コロナ禍後の地域経済」

富山 和彦 氏 [株式会社 経営共創基盤 (IGPI) グループ会長]

株式会社日本共創プラットフォーム（JPiX）代表取締役社長

第2部 パネルディスカッション

「地方議会のデジタル化の現状・課題と将来の可能性」

2日目 10月20日（木）

第3部 課題討議

「地方議会のデジタル化の取組報告」

8 所感・提言・課題等

基調講演では、デジタル革命の進展から、コロナ禍によって更に拡大、AI新時代（第4次産業革命）の到来としており、ローカル経済圏では地域経済は70%を占めており、経済は打撃を受けている状況だが、現状では人が足りない、人材不足との指摘をされ、DX活用など新たな取り組みによる生産性向上を目指して展開している全国各地の取組みの事例の紹介がありました。（要旨）

第2部・第3部では、先進地の取組み事例を伺いましたが、小牧市議会として既に実施している内容もあり情報共有し確認することができました。

但し、先進地において開催しているオンラインでの議会と市民の意見を聞く会の実施については議会の中で協議しながら今後の課題としたいと思います。